車載端末はいらずスマートフォンで安価に高機能を享受できる

従来の配送管理の常識を覆す！ グローバル・アドバンス

「車載端末を取り付けるタイプの配送管理システムは、車両1台ごとに取り付ける端末の導入費が高く、維持費もかかる」「安価なコストに抑えるため、携帯電話を使った管理を行おうとしたら、機能が絞られ、まったく使えなかった」…etc。

こうしたこれまでの配送管理システムの常識を覆すシステムが「グローバル・アドバンス」（本社＝東京都中央区、大野和人社長）より、販売される。

同社の配送管理システムは、専用車載端末はいらず、スマートフォン（GPS機能付）と、グローバル・アドバンスが持つセキュリティ技術との融合のもと、従来の機種ではできなかった高精度の配送管理を実現している。

システムの初期導入費はいらず、サービス利用料は、1台あたり月5000～1万円前後を予定している。さらにスマートフォンの導入台数に関わらず、管理画面システムにかかる初期・維持費は無料と、破格の値段だ。

同社では販売営業をこのほどスタートさせ、今年秋をメドに、製品の導入を順次、進めていく方針。

すでに大手物流会社で採用を検討するなど、スマートフォンを活用した同社の配送管理システムは、多くの物流関係者が興味を示しており、今後、業界のデファクトスタンダードになりうる可能性を高く秘めている。（システムは2月に特許申請済み）

▼グローバル・アドバンスが保有する高セキュリティ技術

グローバル・アドバンスの配送管理システムは、もともと物流システム構築の発想からではなく、同社が強みを持つ、セキュリティシステム開発が基盤となって生まれた。

同社のセキュリティシステムは、ICカードとGPS機能付きのスマートフォンを活用し、ユーザーの個人情報や位置情報を読取り、いつ、誰が、どういった経路で、どの部屋に入ったかといった詳細な履歴情報を管理するもので、データセンターを設け、クラウドコンピューティング（ASP／SaaS）で提供している。

ここでは指定のスマートフォンが、GPS機能を通じて、PCのある位置に近づかないとログインすることができない。高セキュリティ技術と精度の高い位置情報管理技術によって実現した仕組みは、業界から高く評価され、導入実績を重ねることとなった。

セキュリティシステム技術が基盤に

同社の活躍を聞きつけた物流関係者より「物流業界への転用もできるのではないか」と指摘を受け、それならば「輸送業者が欲しい機能をワンセット取り揃え、高機能で、使いやすいシステムを、しかも中小事業者でも負担を感じないリーズナブルな価格で提供し、業界のいままでの仕組みを一新したい」との思いで作り上げたのが、配送管理システムだった。

▼管理画面＝マップをクリックするだけで住所表記が表示され、煩雑な入力をできるだけ少なくする作りに

ここからはスマートフォンを活用した配送管理システムの運用方法をみていく。

管理画面には、ドライバー・携帯番号・車両情報などが登録されており、管理者側は管理画面を通じて、作業者の経路を設定する。

配送先の登録においては、入力業務をできるだけ簡素化していくため、マップをクリックし、ポイントを選択すると、当該場所の住所表記が自動的になされる。ビル名や配送に関わるサブ情報だけを入力するだけでいい形となっている。

マップの拡大・縮尺は自由に行えるため、おおまかなマップ表記で指示したあとに、ズームをかけて、道路の左右どちらに位置するのかといったことまで、ポイントすることができる。それでマップ上で判断できることが可能だ。

▼ドライバー＝スマートフォンを持っているだけで特別な操作をせずに自動的に情報が更新されていく

一方、ドライバーはスマートフォンを持ったままトラックを運転し、配送先へと向かう（スマートフォンは走行時、車両電源につなぐことになるのでバッテリーの心配もまったくいらない）。

GPS機能により経路、配送先の到着時刻は、自動的にデータセンターへと送られ、情報はほぼリアルタイムの形で更新されるようになっており、同社のセキュリティ技術を応用し、社員カードと連動した作りにすることも可能だ。

このほかカスタマイズへの対応も随時、行っていく。今後はスマートフォンにある加速度センサを利用して、上下を含めた3次元まで特定し、道路の交差部や、上の高速道路か下の普通道路のどちらを走行しているかといったことまで割り出せるようにする。

販売営業は始めて間もないが、すでにある大手物流業者が興味を示し、導入を検討している。ほかの物流関係者も数社、興味を示しており、物流実務を熟知した、ある物流コンサルからは「今後の配送システムはクローバル・アドバンスによって一変する。業界のデファクトスタンダードになる」と、このスマートフォンを活用した配送システムに、太鼓判を押している。

管理者→マップをクリックするだけで住所を表記
ドライバー→スマートフォンを持つだけで情報は自動更新

今後は加速度センサを利用し上下の特定も

マートフォンだけあれば配車管理ができる。

サービス利用料は、1台あたり月5000～1万円前後を予定。さらに1台からでもすぐに使えるようにと、スマートフォンの導入台数に関わらず、管理画面システムにかかる初期導入費・維持費は無料と、破格の設定を行っている。

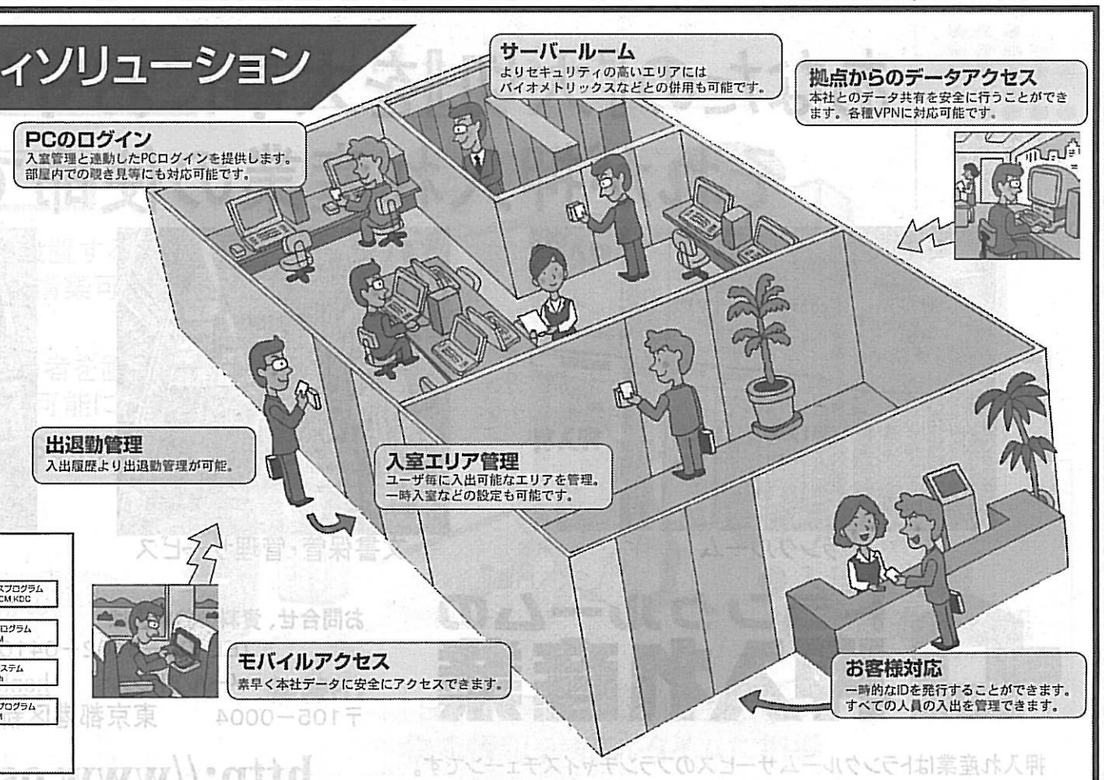
また各種分析システムやカーナビとの連動もできるようになっており、同社のセキュリティ技術を応用し、社員カードと連動した作りにすることも可能だ。

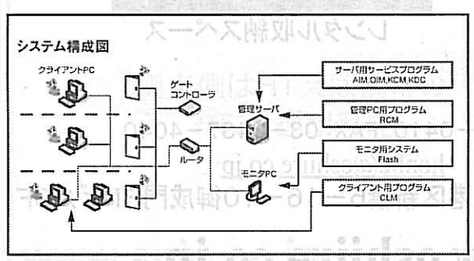
このほかカスタマイズへの対応も随時、行っていく。今後はスマートフォンにある加速度センサを利用して、上下を含めた3次元まで特定し、道路の交差部や、上の高速道路か下の普通道路のどちらを走行しているかといったことまで割り出せるようにする。

販売営業は始めて間もないが、すでにある大手物流業者が興味を示し、導入を検討している。ほかの物流関係者も数社、興味を示しており、物流実務を熟知した、ある物流コンサルからは「今後の配送システムはクローバル・アドバンスによって一変する。業界のデファクトスタンダードになる」と、このスマートフォンを活用した配送システムに、太鼓判を押している。

トータルセキュリティソリューション

GPSなどの位置情報システムや局所的な通信システム、オリジナルの相対座標システムを利用した、当社独自の認証システム「KGOフレームワーク」を使用したシステムです。
高度なセキュリティと柔軟なシステム構築をサポートすることが可能です。
今までの防犯システムと情報セキュリティ、および入室管理システムを統合して管理運用できるシステムです。
個別のユーザと個別のゲートの管理、および入出履歴や出退勤管理との連動も可能になります。





G1 株式会社 グローバル・アドバンス
〒104-0042
東京都中央区入船3-7-7 ウィンド入船ビル4F
TEL:03-5543-3682　FAX:03-5543-3730
http://www.g-advance.co.jp/